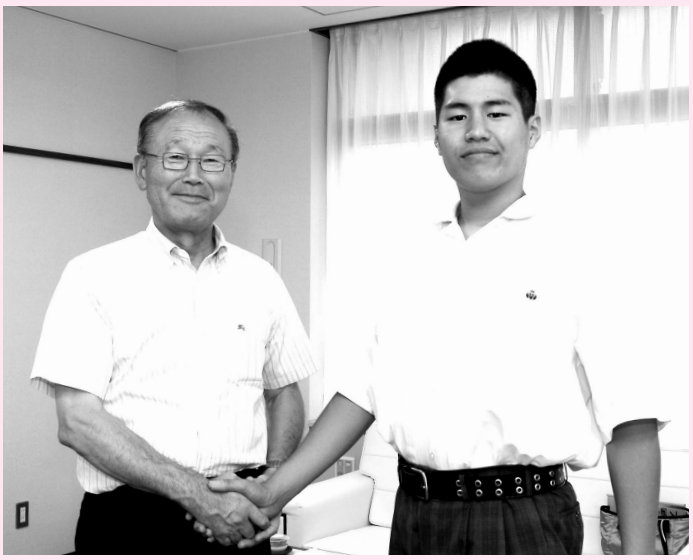
友好の架け橋となる

小学生士別市派遣団結団式

「学ぼう士別　わたしたちが友好のかけ橋」をスローガンに、友好都市の北海道士別市に派遣される小学生派遣団の結団式が7月23日、市役所で行われました。市内8小学校の5・6年生の代表児童32人が出席。農作物の調査や冬の建物における寒さ対策など、派遣先で学びたいテーマなどを全員が発表しました。久野知英（くのともひで）市長は「体調管理に注意して、今回の交流が大人になっても続く素晴らしいものにしてください」と激励しました。



大舞台で全力を出し切る

2012ジャパンパラ水泳競技大会出場選手激励会

身体障がい者の国内における水泳競技の最高峰2012ジャパンパラ水泳競技大会に、愛知県代表として出場する柘植英治（つげえいじ）さんの激励会が7月11日、みよし市役所で行われました。7月15日から16日まで、大阪府の門真（かどま）スポーツセンターで開催されるこの大会に、柘植さんは50m自由形、100m自由形・バタフライの3種目に出場。大会の抱負を柘植さんは「大好きな水泳でメダルを取れるように頑張りたい」と力強く話しました。

自己記録の更新を目指して

小学校水泳大会

小学校水泳大会が7月23日、南部小学校で行われました。今年は市内8小学校の4年生から6年生の代表児童およそ130人が参加。選手を代表して天王小学校の中村空矢（なかむらそらや）くんと本松（ほんまつ）満帆（ほ）さんが「練習してきた成果を存分に発揮し、正々堂々と力の限り泳ぎきることを誓います」と元気良く宣誓。その後、男女それぞれが種目ごとに分かれ、チームメイトから大きな声援が送られる中、白熱した試合が繰り広げられました。

1秒でも速く正確に

第57回愛知県消防操法大会

愛知県消防操法大会が7月21日、半田市役所で県下38市町の代表が参加して行われました。みよし市からは5月の大会で、小型ポンプの部で優勝した三好上分団が出場。駆け付けた応援団が見守る中、団員たちは日ごろの訓練成果を発揮しようと、規律ある行動で堂々と操法を実施しました。久野知英市長は「今大会を契機に団員同士の団結力を深めて、地域の安全・安心のため消防活動に励んでください」と団員の労をねぎらいました。

母校の誇りを胸に

西三河中学校選手権大会 豊田・みよし地区予選会

7月7日から23日まで、西三河中学校選手権大会豊田・みよし地区予選会が行われました。みよし市、豊田市の中学生およそ5,000人が参加し、みよし市からは、軟式野球やサッカーなど11種目に参加。予選突破を目指し熱戦が繰り広げられました。陸上競技男子200mで優勝し、西三河大会出場を決めた三好丘中学校3年の山本幹也(やまもとみきや)くんは「次は、自己ベストが出せるように頑張ります」と笑顔で抱負を話していました。

冷たくて気持ちいい

魚つかみ大会(茨生行政区)

茨生行政区主催による魚つかみ大会が7月15日、茨生町地内の境川で行われました。小学生以下の子どもとその保護者およそ150人が参加し、加藤富久(かとうとみひさ)区長は「今日はけがをしないように楽しんでください」とあいさつ。ネットとブロックでせき止められた浅瀬に、金魚800匹と今年価格が高騰しているウナギ20匹、そして当日境川で釣り上げた80㎝近くもある大きなコイ1匹が放流され、逃げ回る魚を思い思いに捕まえていました。